

目指すもの

幸福な人生を歩んでいくために

正しい信仰の実践によって、いかなる苦難をも克服する強い生命力が育まれ、深い智慧と慈愛に満ちた人間性が培われます。そして、何ものにも崩されることのない絶対的幸福の境界を確立できるのです。

自己の幸せは、家族や周囲の人々へ、そして社会の幸福へと通じていきます。今日一日を正しい信仰によって生活することは、あたかも羅針盤を備えた船のように、幸福という目標に向かって正しく前進することになるのです。



日蓮正宗の行事

(※は総本山のみ)

一月一日	元旦勤行
二月一日	元節
二月三日	成人式
二月七日	成分会
二月十六日	御宗師会
三月彼岸中	春季彼岸会
四月六・七日	靈宝虫拝会
四月二十八日	立宗会(※)
五月一日	大行会
五月十一日	盂蘭盆会(※)
七月十八・十九日	九月彼岸中
九月十九日	秋季彼岸会
十月十五日	御師会
十一月十五日	御會式(※)
十一月十五・十六日	宗祖御大会(※)
十一月十九日	寛師会
十一月二十日	御難会
十一月三十日	御難会(※)

この他、毎月1回、宗祖御報恩御講ならびに御経日永代供養等が行われます。

正しい信仰の
すすめ②

幸せになるための

信仰の実践

日蓮正宗

[3] H23.3

日蓮正宗の広宣流布の実現に向かって



私たち、日蓮大聖人の正しい仏法によって幸福な境界を確立し、平和な社会を築いていくことを目指しています。

日蓮大聖人は、すべての人々に幸福をもたらすため、「南無妙法蓮華経」の教えを説かれました。そして弟子たちに対し、この仏法を弘めて、眞の平和を実現するよう遺命されました。この御遺命の実現を「広宣流布」といいます。

この目的に向かって、信心・折伏に励んでいくところに私たちの成仏があるのです。

御本尊へのお給仕

御本尊について、日蓮大聖人は、「日蓮がたましひをすみにそめながしてかきて候ぞ、信じさせ給へ」（『経王殿御返事』御書685）

と仰せられています。御本尊は御本仏大聖人の御魂魄であり御当体です。ですから御本尊へのお給仕は、生身の日蓮大聖人にお仕えするような気持ちで行なうことが大事です。

また、仏壇は清浄な場所に安置し、日々に仏壇を拭き清め、しきみの水を換え、お水をお供えし、灯明をつけ、香を焚きます。こうしたお給仕は、すべてが御本尊への供養となり、自らの功徳善根を積むことになります。

自行化他の信心に励みましょう！

日蓮大聖人は「自行化他の信心」を教えられています。自行とは、自身の修行として勤行・唱題することなどをいいます。勤行・唱題は、幸福な人生を確立し、希望に満ちた未来を切り開いていく源泉となるものですから、毎日欠かさず行いましょう。

また、化他とは、日蓮大聖人の信仰を知らない人に対して、不幸の原因が誤った宗教（謗法）にあることを教え、日蓮正宗への入信を勧めることをいいます。この化他行を「折伏」といいます。

この自行と化他行は修行の根本であり、これらをともに実践してこそ、成仏という大きな利益が得られるのです。



総本山への登山と寺院への参詣は、 仏道修行の基本です！

總本山大石寺へ参詣することを本宗では「登山」といいます。大石寺は、本門戒壇の大御本尊が厳護され、日蓮大聖人の血脉が伝えられる仏法根源の靈地です。私たちは機会あるたびに總本山へ登山し、自身の罪障消滅と大願成就、さらに世界平和の実現を大御本尊に祈っていきましょう。

また、私たちが所属する寺院は、大石寺の「末寺」です。この末寺も、御本尊が安置され、仏法僧の三宝が備わった道場であり、広宣流布を進める重要な法城です。

私たちは、仏法の根源である大御本尊への絶対の信心を固く持ち、總本山へ登山するとともに所属寺院に参詣し、住職・主管の指導を受けながら、信心に励んでいくことが大切です。



御供養

御供養とは、仏法僧の三宝に報恩の心をもって、金品等を供えることをいいます。この御供養は、總本山の護持と寺院の発展、広宣流布を推進する基盤となるものです。

日蓮大聖人は、「凡夫は志ざしと申す文字を心へて仏になり候なり」

（『白米一俵御書』御書1644）

と仰せられ、私たち凡夫にとって清浄かつ純粋な志による御供養こそ、成仏の基になると教えられています。

私たちは、正法の興隆と発展のため、また、自身の功德を積んでいくためにも、真心からの御供養につとめていきましょう。

教学の研鑽

日蓮大聖人の教えを学ぶには「御書」を根本とします。「御書」とは、日蓮大聖人が書き残された教義書や、弟子・信徒に与えられた手紙などをまとめたものです。

御書の内容は広汎で難解です。私たちは、寺院での御報恩御講や勉強会などに率先して参加し、日蓮大聖人の仏法を正しく学んでいきましょう。

教学が深まれば、悪縁に遭っても紛動されることがなくなり、折伏に必要な知識を身につけることができます。

教学研鑽のために『大日蓮』『大白法』『妙教』などの機關誌紙を大いに活用しましょう。